

神戸市北区

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク

(平成 24 年度)

報 告 書



平成 25 年 3 月

北区地域自立支援協議会

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会

目次

あいさつ	1
1 24 年度事業報告	2
2 農村工学研究所 研究結果報告	4
3 神戸障がい者就労研修会	6
案内チラシ	6
配布資料内容	8
アンケート結果	29
4 部会議事録	32
資料	42
活動の記録（年表）	42
規則	47
参加事業所一覧	48

ごあいさつ

北区地域自立支援協議会 農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会
部会長 井上 勝彦

当部会は、平成21年から23年までの3年間、神戸市が北区で実施したモデル事業「農でデザインする福祉のまちづくり事業」で培われたネットワークを継承し、24年度より、北区地域自立支援協議会の特別部会「農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会」として活動を開始しました。

今年度の活動には、神戸市から北区保健福祉部と農政部地域計画課、神戸市北区社会福祉協議会、そして16の福祉事業所にご参加いただきました。

また当事業は、農林水産省経営局の平成24年度障害者就労支援事業に選ばれ、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所との共同研究も行うことができました。2月の研修会には、農林水産省女性・高齢者活動推進室の荻野喜江室長にご出席いただき、ご挨拶いただきました。

情報発信に不可欠なホームページを11月から公開、運営を開始しました。制作にあたり、アート・ウィルの桜井ユカ氏にお世話になりました。

視察研修会では、訪問させていただいた社会福祉法人るりがくえんの岩崎貞徳理事長はじめ、職員の皆様にご指導とご交流いただきました。

研修会では、農村工学研究所より石田憲治氏、片山千栄氏、おうご農園クラブ代表藤田寛文氏、神戸市北区保健福祉部横田治郎部長、神戸市産業振興局農政部計画課盛田周吾係長に講師を務めていただきました。

ここに記しきれない多くの方々に多くの皆様にご支援いただき、今年度の活動を大変有意義に行うことができました。心より感謝申し上げます。

今年度の実績の上に、得られた課題や目標に向けて来年度も活発に活動を展開していきたいと思います。来年度も引き続き皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

24年度の取り組み

①自立支援協議会の特別部会として再スタート

「農でデザインする福祉のまちづくり事業」は平成21年度から23年度までの3年間にわたり、神戸市北区役所の事業として取り組んできました。その結果、生産、加工、販売に取り組む障がい者就労事業所間のネットワークができ、協力しあって事業に取り組んでいます。

24年度からは、「北区地域自立支援協議会」の特別部会「農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会」として活動することになり、今年度は正会員9事業所、協力会員7事業所、神戸市北区保健福祉部、神戸市北区社会福祉協議会、神戸市農政部計画課からご参加いただきました。

②農村工学研究所との共同研究

今年度は農林水産省障害者就労支援事業の補助を受け、障がい者の農業就労を研究している独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所との共同研究を実施しました。試験研究課題は「都市近郊地域での農福連携における農空間の活用方策」で、これからもご指導を受けながら、事業や研究を継続する予定です。

③スイカの収穫体験の実施

当部会では、就労事業所が農業に触れる機会を設け、農業への関心を高めたり、さらには農業を就業科目に取り入れる事業所が増えることを目的に、就労事業所単位で参加いただく農業体験を8月2日に上野丘更生寮で開催しました。

北区の7事業所が参加し、スイカの収穫作業を体験しました。参加した利用者たちは炎天下の作業や丸々と熟したスイカを重さなど初めての経験を楽しんでいました。

これからも農業体験企画を開催していく予定です。



④視察研修会の開催

8月5－6日に1泊2日で、山口市にある「社会福祉法人るりがくえん」で視察研修会を開催し、7団体から12名が参加しました。

るりがくえんに入ると、まず30馬力を超える大型トラクターが3台並び、その後ろには体育館よりも大きな大作業棟があり、施設や設備が充実していました。耕作面積は15ヘクタールで、北区では1ヘクタールでも大規模なのに対して、規模の大きさに驚くばかりでした。



⑤「神戸障がい者就労研修会」の開催

2月16日（土）に北神区民センター・あじさいホールで、就労研修会を開催しました。第1部は24年度の事業報告を参加事業所と事務局から行い、第2部は7名の出演者で「都市近郊農業における障がい者就労の可能性」についてパネルディスカッションを行いました。

福祉関係者や地域の方など93名にご参加いただき、当ネットワークの活動を知ってもらえたり、農業就労を考える良い機会となりました。



平成24年度 受託研究結果報告書

研究課題	「都市近郊地域での農福連携における農空間の活用方策」検討業務		
地区名	神戸市北区	研究担当者の 所属・氏名	農村基盤研究領域 領域長 石田憲治 上席研究員 坂根 勇 契約研究員 片山千栄
研究結果の要約 (1) 研究の目的 都市近郊の農空間を活用して、福祉事業所に通所する障がい者による農業生産の取り組みを安定的に継続する仕組みの構築ならびに取り組みの普及に向けた研修会の開催を支援する。 (2) 研究の方法 北区地域自立支援協議会「農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク」部会と共同して現地調査を行い、同ネットワークの構成員等からの聞き取り調査結果を分析して、栽培品目の拡大とそのため遊休農地や耕作放棄地等を農業生産空間として活用する方策を「都市近郊」という地域の立地に着目して検討する。その際、年間を通した農作業確保、消費者との関係構築に留意する。 (3) 研究の結果 ①「生産」、「加工」、「販売」の3部会による連携モデルの構築 平成21～23年度の3ヶ年、神戸市北区保健福祉部が事業主体となって実施された「農でデザインする福祉のまちづくりプロジェクト」の成果を踏まえて取り組んだ平成24年度の「きたベジねっと」（農でデザインする福祉のまちづくりネットワークの愛称）の活動は、農林水産省「障害者就労支援事業」の補助を活用しながら、都市近郊農業における障がい者就労の可能性を実践的に軌道に乗せて、実現に向けて大きく歩を進めた。 活動の特徴は、「きたベジねっと」を構成する福祉事業所が地域のネットワークを構築し、各事業所の特徴を活かして、それぞれ生産、加工、販売の部会（グループ）の何れかもしくは複数に参加して、農業に関わる得意な分野から実践を広めていくところにある。そして、農家や消費者との連携を強化して、遊休農地の管理や農家レストランの経営にも障がい者就労の可能性を拡大し、都市住民への活動成果のPRをも視野に入れた活動を展開しつつある（図1）。 ②ネットワーク推進上の課題 ・ <u>農業の採算性</u>；福祉事業所が農作業や農産物加工、生産物の直売等に取り組んで、障がい者の就労機会を創出しようとする場合に、農業部門の採算性をきちんと検証しておくことが重要である。今年度の活動を通して、多くの福祉事業所が農業における採算性に関心をもつに至ったことは、福祉事業所が農業参入する上で大きな一歩と判断される。 ・ <u>農産物搬送の合理化</u>；ネットワークの特徴を活かして、農産物の生産を少量ずつ分散して行ったり、消費者ニーズに対応した販売の場と生産の場を有機的に繋ぐためには、機動的な農産物搬送が欠かせない。しかし、少量多頻度の搬送はコスト面で効率が良くないことが課題である。福祉事業所の利用者送迎車両の活用やバス事業者が試験的に実施している農産物搬送における公共交通の利用等			

も、事故時のリスク負担を解消する仕組みを構築しつつ、検討する必要がある。

③大消費地近傍での展開

「きたベジねっと」の取り組みには、神戸市という大都市の近郊農業を最大限に活用することで活路が開けることに着目する必要があると考えられる。安全で安心かつ新鮮な野菜が身近で生産されて手ごろな価格で入手できることは、都市住民に対して

大きな付加価値を提供する。また、地産地消の観点からは国民生活に係る政策的価値も大きい。さらに、「きたベジねっと」の取り組みから産出される農産物は、農業と福祉の協働という付加価値をも具備していると言える。

④今後の展開に向けた検討

都市近郊地域である立地条件を活かして、施設利用者による農業分野の就労を安定的なものとするためには、農業関連事業における採算性の確保は不可欠である。2月16日開催された、今年度成果の発表を兼ねた

「障がい者就労研修会」における8事業所からの収支報告によると、生産、加工、販売を問わず農業関連事業についての収支がゼロのところは2事業所、収益10万円未満が1事業所、同10万円以上100万円未満が3事業所、同100万円以上が2事業所で、経理上の赤字決算はなく、活動は比較的順調である。

ただし詳細に見ると、ネットワークの共通の課題でもある農産物の搬送に要する経費が支出の63.9%を占めた事業所もあり、先述した方策も含め、今後の対策が急がれる。工賃については、農業部門を峻別してデータが提供された5事業所間でのバラツキが指摘される。最小は108円、最大は20,000円であるが、数値を昇順に並べた中間値が10,000円/月・人である。支出に占める工賃の割合をデータの得られた3事業所について示すと相関が窺える(図2)。工賃実績1万円の水準については、個々の事業所の事情も異なり高低を簡単に断じることはできないが、ネットワークの構成員で農産物生産実績が最も長い事業所の例は、工賃に配分する総額が農業部門の総支出額の27.4%であり、この水準で試算すると、運送費や備品・消耗品費など他の経費支出を極力抑制することにより、他の多くの事業所でも実現可能な数値であると考えられる。

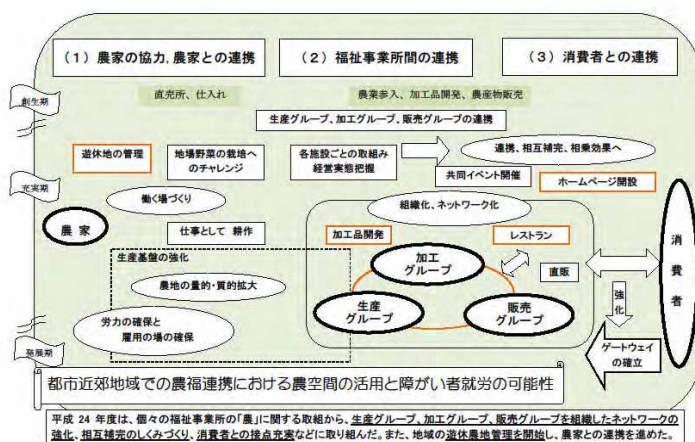


図1 「きたベジねっと」における取り組みの模式化

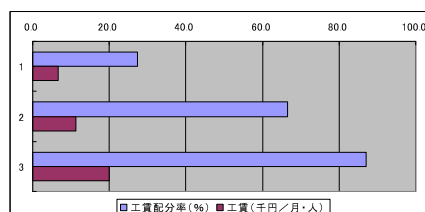


図2 支出に占める工賃と配分割合

注) 1. 地区名欄には、本省、地方農政局の局名、課名、事業所名等を明記すること。

2. 研究結果の要約は、(1)目的、(2)試験研究の方法、(3)研究の成果の順に具体的かつ簡明に800字程度にまとめて記載すること。

都市近郊農業における 障がい者就労の可能性



～農でデザインする福祉のまちづくりネットワークの取り組み～
(神戸市北区・きたベジねっと)



- ①就労支援事業所における農業の取り組み
- ②生産・加工・販売ネットワーク
- ③地域農業における期待と就労の可能性



日時:平成 25 年 2 月 16 日(土)13:30～16:00

場所:北神区民センター・ありまホール

神戸市北区藤原台中町 1-3-1 TEL 078-987-3400

参加費:無料(どなたでもご参加いただけます)

**先着
100名様
大根1本
プレゼント**



【電車でのアクセス】

神戸電鉄「岡場駅」下車、徒歩5分

【車でのアクセス】

中国自動車道西宮北インターを「神戸・吉川方面」へ0.5km、有野インター交差点を左折、県道15号を直進1.5km、岡場交差点を右折0.6km、六甲北有料道路吉尾インターを藤原台方向(東)へ1km、藤原台北町7交差点を右折1.5km、藤原台北町4交差点を左折0.2km

【駐車場】

収容台数:123台 利用料金:30分につき100円

(館利用の場合2時間まで無料 1台あたりの上限は1日1,000円)

主催:神戸市北区地域自立支援協議会

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会

共催:神戸市北区役所、北区社会福祉協議会

助成:農林水産省補助事業「平成24年度障害者就労支援事業」



●お問合せ先:きたベジねっと事務局 Eメール: farm@kobe-kita-vege.net

社会福祉法人フレンド 〒651-1313 神戸市北区有野中町 1-3-8 TEL 078-982-9595

<http://www.kobe-kita-vege.net/>

障がい者就労支援研修会（神戸）

都市近郊農業における障がい者就労の可能性

プログラム

開場（13:00）開会（13:30）

第1部 事業報告（13:35～14:25、50分）

平成24年度活動報告 実施就労支援事業所、事務局

第2部 パネルディスカッション（14:35～15:55、80分）

パネリスト 藤田 寛文（おうご農園クラブ代表）

井上 勝彦（「きたベジねっと」部会長、社会福祉法人上野丘さつき会 理事長）

横田 治郎（神戸市北区役所保健福祉部長）

盛田 周吾（神戸市産業振興局農政部計画課 地域整備係長）

石田 憲治（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域長）

コーディネータ 片山 千栄（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域）

閉会（16:00）

日時：平成25年2月16日（土）

会場：北神区民センター・ありまホール

参加費：無料（どなたでもご参加ください）

**先着100名様に
大根1本プレゼント**

13:00から受付にて引換券をお配りします。大根の引き換えは16:00から受付で行います。

障がい者就労支援研修会（神戸）

参加申込書

■お申込み方法

- ・FAX 申込用紙にご記入の上、事務局（社会福祉法人フレンド）へ送信ください。
- ・郵送 申込用紙にご記入の上、事務局（社会福祉法人フレンド）まで郵送ください。
- ・Eメール 申込用紙の内容をご記入の上、事務局アドレスへ送信ください。

※このお申込みによる個人情報は、本研修会の運営以外には使用いたしません。

お名前	所属等	TEL または E-mail

●お申込み・お問合せ先



きたベジねっと事務局 Eメール：farm@kobe-kita-vege.net

社会福祉法人フレンド 〒651-1313 神戸市北区有野中町 1-3-8 TEL 078-982-9595

FAX 078-982-9596

障がい者就労支援事業 研修会（神戸）

都市近郊農業における 障がい者就労の可能性



日時：平成25年2月16日（土）13:30～16:00

場所：北神区民センター・ありまホール

主催：北区地域自立支援協議会

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会

共催：北区役所、北区社会福祉協議会

障がい者就労支援事業 研修会（神戸）

都市近郊農業における障がい者就労の可能性

～農でデザインする福祉のまちづくりネットワークの取り組み～

プログラム（敬称略）

開会挨拶 13:30～13:35

荻野 喜江（農林水産省経営局就農・女性課女性・高齢者活動推進室 室長）

第1部 事業報告（50分）13:35～14:25

平成24年度活動報告 各福祉事業所担当者

〈 休憩 14:25～14:35 〉

第2部 パネルディスカッション（80分）14:35～15:55

「都市近郊農業における障がい者就労の可能性」

パネリスト 藤田 寛文（おうご農園クラブ代表）

井上 勝彦（部会長、社会福祉法人上野丘さつき会 理事長）

横田 治郎（神戸市北区保健福祉部長）

盛田 周吾（神戸市産業振興局農政部計画課 地域整備係長）

石田 憲治（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域 領域長）

コーディネータ 片山 千栄（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域）

閉会挨拶 15:55～16:00

大久保敏則（社会福祉法人フレンド 常務理事）

司会：今枝正臣（北区社会福祉協議会事務局部長）

主催：神戸市北区地域自立支援協議会・

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会

共催：神戸市北区役所、北区社会福祉協議会

※本研修会は農林水産省補助事業「平成24年度障害者就労支援事業」の一環として開催されます。

1 部 事業報告

- ①上野丘更生寮（社会福祉法人 上野丘さつき会）
- ②ホームはっち（NPO法人 はっち）
- ③ワークステーション フレニード（社会福祉法人 フレンド）
- ④だんだん（社会福祉法人 かがやき神戸）
- ⑤清心ホーム（社会福祉法人 恵泉寮）
- ⑥みのたに園（社会福祉法人 陽気会）
- ⑦すずらの里（社会福祉法人 ゆうわ福祉会）
- ⑧いかり共同作業所（社会福祉法人 いかり）
- ⑨しらゆりフレンドリークラブひがしなだ（社会福祉法人 白百合学園）
- ⑩きたベジねっと

事業所名	上野丘更生寮								
法人名	社会福祉法人 上野丘さつき会								
①今年度、新しく取り組んだ事業									
・乾燥機を導入し、干ししいたけ、切干大根はもとより、夏野菜（ゴーヤ、ナス等）の乾燥も試してみた。 ・真空パックの器具を導入し、保存がきかない野菜もパックする事で商品化できた。（かぼちゃ、里芋、タケノコをカットして真空詰め）									
②昨年度から継続して取り組んだ事業									
販路開拓したところに商品を定期的に納め、収益を落とさない様に努力した。									
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）									
販路開拓したところに定期的に納める事、また乾燥機を利用し乾物商品が増え売上増加につながった。 問題点として、配送に時間がかかる為、当事業を通して配送システムが構築できないかと考える。									
④短期（１～２年）・長期（５～１０年）の目標									
●短期目標 簡易ハウス等を利用し、作付けに工夫し、端境期に何か商品ができる様に取り組む。 ●長期目標 農家さんより生産委託や不作地等への作付けを可能な限り増やすよう取り組みたい。									
収支状況（24年４月～12月）									
収入の部	売上	野菜販売手数料	その他						収入合計
	8,062,443								8,062,443
支出の部	利用者への工賃	材料費(種苗・肥料等)	運送費・燃料費	什器・備品費				その他米仕入他	支出合計
	1,530,000	1,664,711	26,447	311,500				2,044,893	5,577,551
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者１人当たりの平均１月工賃									収支差額
6,600 円／１月当たり									2,484,892

事業所名	ホームはっち（就労支援 B 型）
法人名	NPO 法人はっち
①今年度、新しく取り組んだ事業	
1. 販売分野については事業所が岡場に移転した際に大池「ピヨピヨ」での野菜販売を縮小。現在は週 2 回（月・金）大池集会所への野菜の移動販売、月 2 回（木）小部地域福祉センターに移動販売を行なう。（販売する野菜は、自主生産物と協力農家南様から仕入れる） 2. 岡場にある「淡河農園クラブ」の協力を得て、2 名の利用者が月～金の 9:00～12:00 で直売所の販売業務に従事しています。販売（接客）を通して日々の生活に活力を見出して頑張る姿があり、これからのマッチングを大事に成長させていきたい。	
②昨年度から継続して取り組んだ事業	
1. 生産分野については淡河町で露地(3a)で無農薬による野菜の生産活動に取り組んでいる。作付も 3 年目を迎え、効率的に輪作をしながら連作障害の出ないように土づくり（栄養分の補充）にも力を入れました。 2. 加工分野について、冬野菜を使用した漬物作り（かぶ・大根・白菜を各加工）味に定評があり、リピーターを獲得できつつある。また、野菜が収穫出来ない時期にもち米を加工して、餅作りをしている。風味は 5 種類あり、内容量は 300g とし、他の生産者との均整がとれるように。（白・海老・黒豆・のり・ごまの 5 種類）	
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
1. 春夏秋冬、四季を通じてその時期の野菜づくりをすることが出来た。少量多品種で栽培することの困難さも同時に実感できた。少量多品種より生産品目を絞った形での生産活動の方が作業の習熟度を向上させ、品質の良い品物づくりに努める事ができると考える。夏場の活動の仕方や冬場の栽培方法の工夫をすることが課題であり、クリアする為に必要な要素（時間的・物理的要因）を改善していきたい。消費者の声（岡場直売所）を近くで聞くことが出来るのでその声（要望）に反応を早く出来るように。（生産施設のネットワークを活用）	
④短期（1～2 年）・長期（5～10 年）の目標	
1. 短期的には通所施設が取り組み、尚且つ生産効率・経済性の高いものに生産品目絞って生産シフトを固定していけたらと考えている。作業パターンを固定し個々の対応力、農業スキルを磨きたい。 2. 中長期的には露地栽培からハウス栽培にシフト出来ればと考えてみたい。年間を通じて安定的に品物を供給できるような「農家」を目指す為に、何を作り、どこに販路を拡げていけるのか、まだまだではあるが、様々なネットワークを結んでおきたい。農業に付属する草刈りや農地の管理というものについても「農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会」をマッチングセンターのようにして、地域のニーズが集約され、跳ね返せるような動き方も必要であると感じる。	

収支状況（24 年 4 月～12 月）

収入の部	売上	野菜販売手数料	その他							収入合計
	1,051,095	158,930								1,210,025
支出の部	利用者への工賃	材料費(種 苗・肥料等)	運送費・ 燃料費	什器・備 品費	消耗品費		光熱水 道費	販売手 数料	その他	支出合計
	806,025	150,000	48,000	150,000	56,000					1,210,025
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者 1 人当たりの平均 1 月工賃 11,195 円／1 月当たり										収支差額
										±0



農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク
— きたベジねっと —

NPO法人はっちからの
お餅販売のお知らせ

白もち

兎の白をイメージしながら
丸く、白く、やわらかい
お餅に仕上げました

¥350

えびもち

干しえびが淡いピンクに
染め上げています
えび風味満点

¥400

黒豆もち

北区大沢町産の黒豆を
使用しています。食べれば
違いがわかります
是非ご賞味あれ!!

¥400

ごまもち

いりごまたっぷり
セサミンパワーで美味!!
ごま風味

¥350

のりもち

一目瞭然、のりがびっしり
入って香りよし!
のり風味満点

¥350

はっちでは冬場に野菜の管理をしながら、
平成24年度産「ヤマフクモチ米」を贅沢に
使用し、お餅を作っています。
ぜひ、ご賞味下さい。

生ものですので、お早めにお召し上がり下さい。
各内容量は、約300gです。

NPO法人はっち ホームはっち
神戸市北区有野中町1-8-6
TEL (078)-987-1266
FAX (078)-987-1266

事業所名	就労継続支援 B 型事業所 ワークステーション フレニード
法人名	社会福祉法人 フレンド
①今年度、新しく取り組んだ事業	
・椎茸園の運営 神戸市北区「農でデザインする福祉のまちづくり事業」で準備、開設した「椎茸園」の運営を開始。 稼働ホダ木 2000 本。 ・椎茸乾燥機の整備 ・大沢農園の運営 ・農作業の受託・・・近隣農家より、夏野菜の片づけ、イチゴ苗ポットの片づけ、畔草刈り	
②昨年度から継続して取り組んだ事業	
・イベント等での野菜の販売	
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
・椎茸の原木栽培を専門家の指導を受けながら実施。さらに向上を目指す。 ・椎茸、野菜ともに収穫ロスが多くあった。収穫作業方法を検討する。 ・農閑期の作業の充実が課題	
④短期（1～2年）・長期（5～10年）の目標	
短期＝ ・椎茸栽培の技術の向上 ・生しいたけ、干し椎茸の質の向上 長期＝ ・販路・販売方法の確立	

収支状況（24 年 4 月～12 月）

収入の部	売上	野菜販売手数料	その他							収入合計
	1,055,000									1,055,000
支出の部	利用者への工賃	材料費（種苗・肥料等）	運送費・燃料費	什器・備品費	消耗品費	通信連絡費	光熱水道費	販売手数料	その他	支出合計
	900,000	134,408								1,034,408
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者 1 人当たりの平均 1 月工賃										収支差額
20,000 円／1 月当たり										10,592

～農業への取り組み～



社会福祉法人フレンド
就労継続支援B型事業所
ワークステーションフレンド

原木しいたけの生産

～今年度4月より、本格的に生産活動を開始しました～

- 作業工程
湯水⇒並べ⇒発生⇒
収穫⇒出荷⇒・・・
- 環境的課題として...
気温、水分量、通気
ナメクジ など
- 技術的課題...
収穫の仕方、サイズ判断
包装のクオリティ など

より多く、より長い期間、発生
させることの研究をした1年と
なりました。



野菜作り～販路開拓

- ◆昨年より引き続き、野菜作りを行なっています。
トマト、ミニトマト、かぼちゃ
ピーマン、なす、オクラ
大根 など

原木しいたけと並行して野
菜作りも取り組んでいます。



地域行事・パザーへの参加

- ◆昨年度より、地域のお祭りで野菜の販売を行っています。

- ・南五葉児童館
7月マーケット
- ・南五葉祭り
- ・地域ふれあいまつり
- ・Fの会活動収穫祭
など...

P.O.P作成、接客、陳列法
季節や地域に合わせた販
売方法を考えます。



地域での請負作業

- ◆平成24年12月より、大沢町農家さん宅での請負作業を
開始しました。

- ・夏菜類の片付け
- ・いちご苗ポットの片付け
- ・畦の草刈り など

人材不足の農業の、
お手伝いを、お請けします。
顔の手よりもフレンドを！
地域と密に取り組んで
行きたいです。



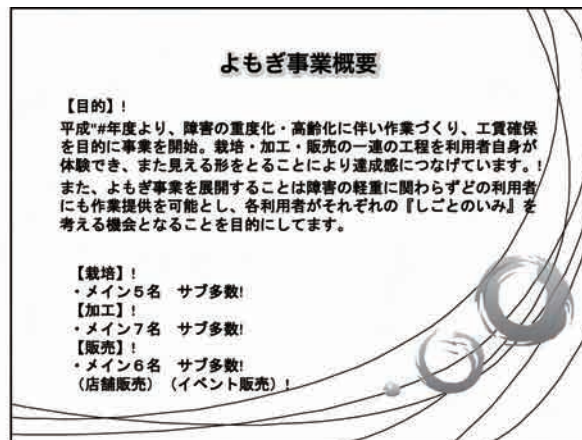
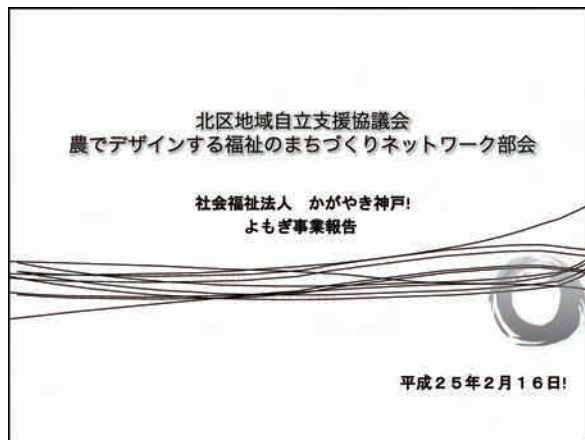
目標と課題

- ◆次年度目標
 - ・しいたけ栽培の技術の向上
 - ・生しいたけ、乾しいたけの質の向上
 - ・地域農業への貢献、農作業請負への取り組み強化
- ◆課題
 - ・農閑期の作業 ・収穫ロス ・不安定な出荷 ・返品
 - ・作業技術（作業訓練方法） ・自助具の開発
- ◆将来の展望
 - ・販路・販売方法の確立
 - ・地域農業請負作業のネットワーク確立
 - ・就農者の輩出

事業所名	就労継続支援事業 B 型 だんだん
法人名	社会福祉法人 かがやき神戸
① 今年度、新しく取り組んだ事業	
・店舗運営（野菜販売・喫茶・リサイクル等） ・加工品の製造（漬け物等） ・よもぎ栽培本格始動	
② 昨年度から継続して取り組んだ事業	
・入浴剤の製造（よもぎ湯） *よもぎ栽培 *入浴剤製造・販売	
③ 今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
・栽培部門において、昨年度を大きく上回る結果となったのは大きな成果であった。 *12月までに約 90 kg（よもぎの葉のみの乾燥状態） ・畑従事者（利用者）が減少している。（利用者の重度化・高齢化の為）	
④ 中期（1～2年）・長期（5～10年）の目標	
【中期】 ・栽培量の増大 ・販路確保 ・新規事業開発 【長期】 ・継続した事業運営	

収支状況（24年4月～12月）

収支状況（21年12月）										
収入の部	売上	野菜販売手数料	その他							収入合計
	1,998,250		572,966							2,571,216
支出の部	利用者への工賃	材料費（種苗・肥料等）	運送費・燃料費	什器・備品費	消耗品費			野菜仕入費	その他	支出合計
		153,957		100,540	191,738			1,368,583	270	1,815,080
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者1人当たりの平均1月工賃										収支差額
										756,136
10,000 円／1月当たり										



事業所名	清心ホーム リーフレット
法人名	社会福祉法人 恵泉寮
①今年度、新しく取り組んだ事業	
・販売日を週一回（火）から週二回（火・金）に増やした。 ・6月より、“リーフレット”として新たに店舗を構え（改修）販売を開始した。 ・加工部門への参加（漬け物作り）を開始した。 ※“清っこ漬け”として1パック100円で販売。	
②昨年度から継続して取り組んだ事業	
・野菜の販売 ・農耕（小規模） さつまいも、玉ねぎ、じゃがいもを育て収穫する。 ・一昨年より、秋に“収穫感謝祭”と称する野菜販売をメインとした地域オープン行事を行っている。	
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
・店舗を設けたことで、地域の方々の目に留まる機会が増え、結果的にお客さんの数が増え、売り上げがアップした。 ・加工体験を通して、作る楽しさと売れる喜びを両方感じ取ることができた。 ・お客さんの年齢層が高く、単身者も多いため、客単価が低い。	
④短期（1～2年）・長期（5～10年）の目標	
・加工、販売以外の活動を考えてゆき、より活動の幅を広げていく。 ・店舗の立地条件を活かした活動を展開していく。 ・利用者の個性、施設の特色を活かした活動を提供していく。	

収支状況（24年4月～12月）

収入の部	総売上	野菜販売手数料	その他							収入合計
	1523560	279292	67090							346382
支出の部	利用者への工賃	材料費(種 苗・肥料 等)	運送費・ 燃料費	什器・備品費 消耗品費	通信連 絡費	光熱水 道費	販売手 数料	その他		支出合計
	0	40582	100000	15878	?	?	0	0		156460
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者1人当たりの平均1月工賃 ★生活介護（76名）で他の収入（さをり、アルミ缶リサイクル等）と合算しており単体は不明。 _____？ _____円／1月当たり										収支 差額
										189922



事業所名	みのたに園
法人名	陽気会
①今年度、新しく取り組んだ事業	
・農作物を含む、自主製品の販路の拡充	
②昨年度から継続して取り組んだ事業	
・原木しいたけの栽培	
・北神ブランドである山田菊生産者との連携強化と山田菊の普及	
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
・北神急行（株）の協力により、週3回、谷上駅構内（駅長室向かい）で、農作物（花、原木しいたけ）や、他の自主製品（焼き菓子類、さをり織り、紙すき等）の販売が可能になった。	
・山田菊の普及強化に向けて、神戸市北建設事務所公園緑地係に働きかけ、10月の菊花展に出展することができ、また北区役所の玄関前にも展示することができた。	
④短期（1～2年）・長期（5～10年）の目標	
①当事業所から徒歩圏内で借りることができた農地を、利用者の働く場、社会参加の場として有効利用していく。	
②現5名の協力菜園家の人数を5名程増やす。	
③上記からの農作物は、主に高齢化の進む自治会などをターゲットに販路を広げ、利用者の工賃増額と地域の活性化につなげる。	

収支状況（24年4月～12月）

収入の部	売上	野菜販売手数料	その他							収入合計
	53,640	262,340								315,980
支出の部	利用者への工賃	材料費(種苗・肥料等)	運送費・燃料費	什器・備品費	消耗品費	通信連絡費	光熱水道費	販売手数料	その他	支出合計
							94,790		110,590	205,380
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者1人当たりの平均1月工賃										収支差額
_____円／1月当たり										110,600



事業所名	すずらの里
法人名	社会福祉法人 ゆうわ福社会
①今年度、新しく取り組んだ事業	
・北区産の野菜(椎茸・大根等)を使った佃煮・漬物の販売場所を増やした。 ・宅配弁当のご飯を北区産のお米にした。 ・	
②昨年度から継続して取り組んだ事業	
・佃煮・漬物の製造、販売。 ・昨年度に引き続き、お弁当を新鮮な季節の野菜を使って、調理するようにした。 ・月に2回定期的に福祉センターでの販売をメンバーが行った。	
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）	
良かった点・・・メンバーが主体的に佃煮・漬物の調理・製造が行えるようになった。 佃煮の日持ちが良くなるように、煮沸消毒を行うようにした。 産地がはっきりわかる食材が増え、新鮮でおいしい。 メンバーが販売に直接携わり、地域の方々と交流することが出来た。 改善点・・・季節のフレッシュ野菜の種類が限られているため、地元の野菜のみで弁当の製造が難しい	
④短期（1～2年）・長期（5～10年）の目標	
・できるだけ地元の野菜等を使用した弁当・佃煮・漬物を行う。	

収支状況（24年4月～12月）

収入の部	売上	販売手数料	その他							収入合計
	278696									278696
支出の部	利用者への工賃	材料費 (種苗・肥料等)	運送費・燃料費	什器・備品費	消耗品費	通信連絡費	光熱水道費	販売手数料	その他	支出合計
		83600								
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者1人当たりの平均1月工賃										収支差額
円／1月当たり										

事業所名	いかり共同作業所 “まちなか市”				
法人名	社会福祉法人いかり				
①今年度、新しく取り組んだ事業					
・販売準備（値付け、値札決め、野菜の個包装など）を仲間中心に取り組んだ。 ・販売についても仲間と職員で取り組むことができた。 ・事業所間の野菜の配達をボランティアさんにお願いした。					
②昨年度から継続して取り組んだ事業					
・販売する際には、仲間に商品のお金の受け渡しをしてもらい、「いらっしやいませ」「ありがとうございました」の挨拶をすることができた。					
③今年度の成果（良かったこと、改善点、問題点や課題の発見、など）					
良かった点 ・仲間が「自分の仕事」という意識を持って取り組み、しっかり挨拶できた。 ・「この野菜おいしいのよ」と、その場でお客様の感想を聞く事が出来た。 ・地域の方との交流の場となり、挨拶や商品の受け渡しをすることで、繋がりを持つことができた。 ・物を売り、“完売”する喜びを知る機会となった。 ・ちらしを撒いてどんな野菜が入荷するかを地域の方に知らせ、足を運んで頂いた。 改善点、問題・課題点 ・直接野菜を仕入れに行く事が難しく、ボランティアさんをお願いしていた。また、仲間や職員も野菜に詳しい人がいなかったため、イメージしていないものとは異なる野菜が入荷される事があった。 ・入荷予定にしていた野菜が天候不良などで仕入れられず、その野菜を目当てに来て下さったお客様にご迷惑を掛けてしまう事が有り、電話やFAXのやりとりだけで野菜を仕入れるのが難しい部分もあった。 ・開店している場所が、人通りの多い所ではなく、住宅地ということもあり、「通りすがりの人に宣伝する」という事がなかなか出来なかった。 ・日陰や、冷房を効かせられる場所がなく、日なたになる場合が多かったため、葉物野菜がしおれてしまうことがあった。（日陰の少ない所で上手に販売するコツを教えてください）					
⑤ 期（1～2年）・長期（5～10年）の目標					
短期の目標 地域の方に幅広く野菜販売のことを知っていただきたい。					
長期の目標 利益を2倍以上にしたい。					
収支状況（24年4月～12月）					
収入の部	売上	野菜販売手数料	その他		収入合計
	196,025				196,025
支出の部	利用者への工賃	材料費(種苗・肥料等)		その他 (送金手数料)	支出合計
	95,205	90,740		10,080	196,025
農でデザインする福祉のまちづくり事業に係る利用者1人当たりの平均1月工賃 —約 108—円/1月当たり					収支差額
					0



しらゆりフrendリークラブひがしなだ



きたベジねっと 24 年度の取り組み

- 部会の開催 毎月 1 回
- 漬物ワーキンググループ（4 事業所が参加、3 回開催）
- ホームページの開設（12 月）kobe-kita-vege.net
- スイカの収穫体験（8 月 2 日、上野丘更生寮で開催。7 事業所が参加）



- 鳥取研修会へ参加（12 月 11 日、4 事業所から 7 名参加）
- 先進事例視察研修会の開催（2 月 5－6 日、るりがくえん）
- 研修会の開催（2 月 16 日、北神区民センター）

第2部 パネルディスカッション

「都市近郊農業における障がい者就労の可能性」

パネリスト

藤田寛文（おうご農園クラブ代表）

井上勝彦（部会長、社会福祉法人上野丘さつき会理事長）

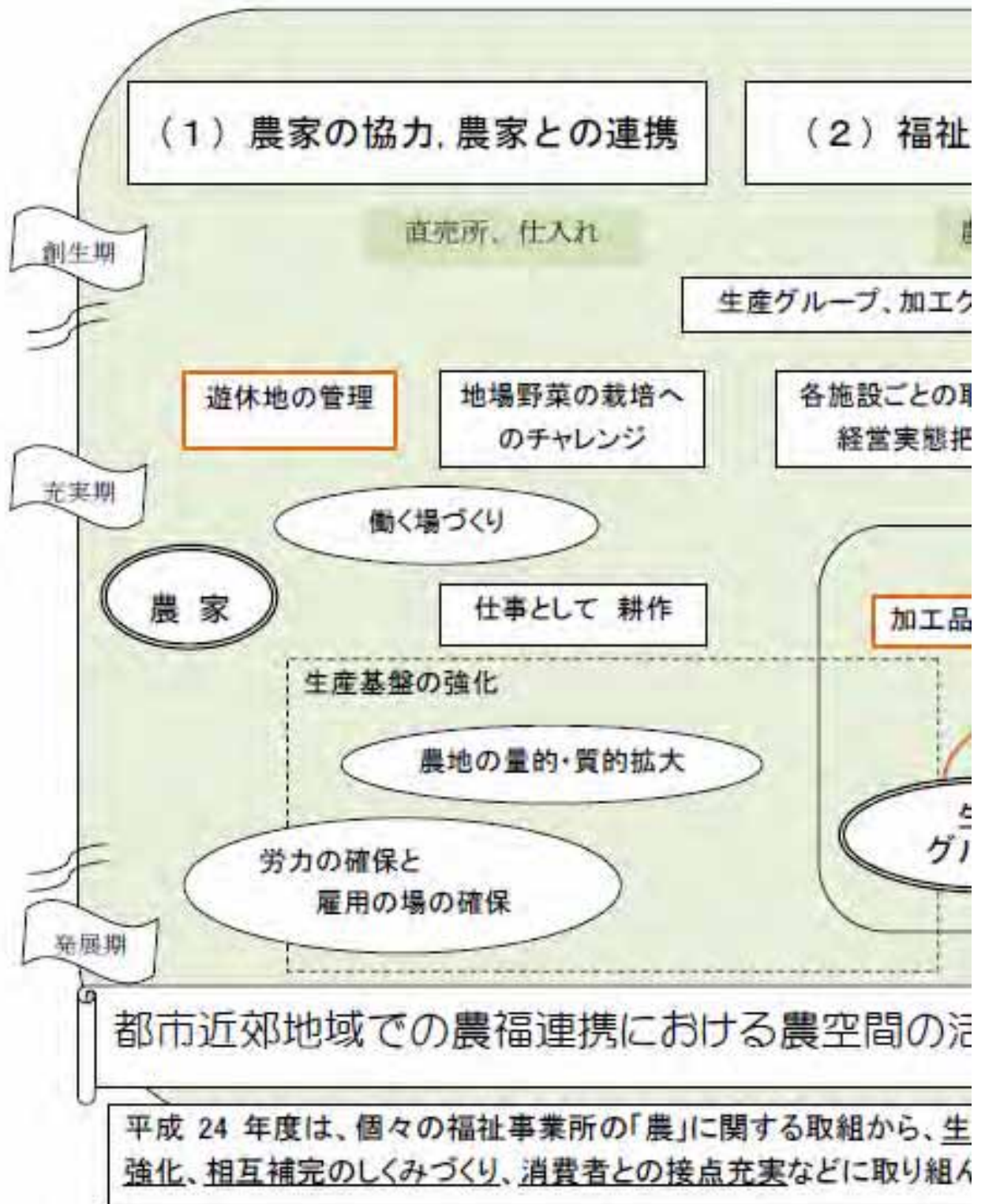
横田治郎（神戸市北区保健福祉部長）

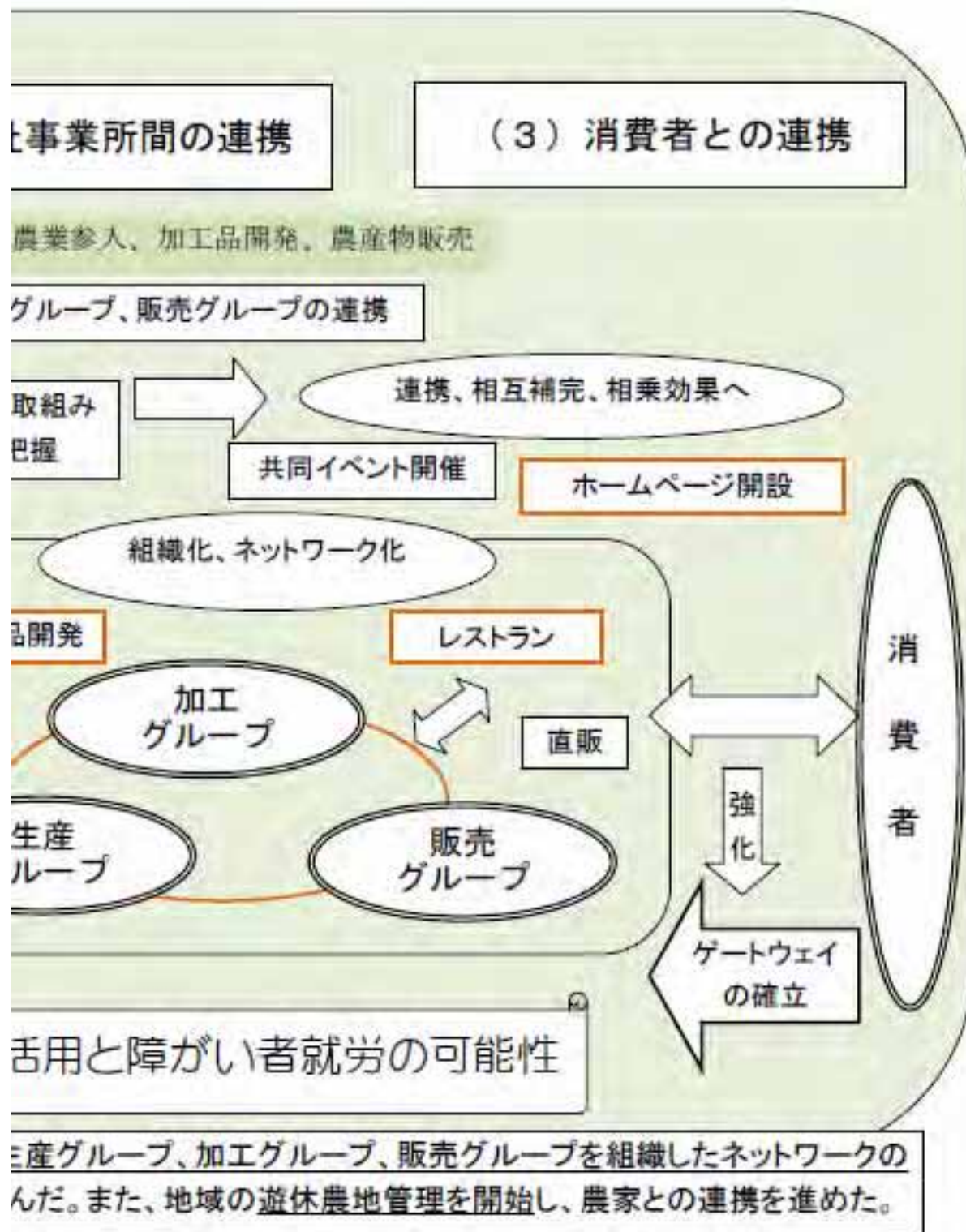
盛田周吾（神戸市産業振興局農政部計画課地域整備係長）

石田憲治（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域領域長）

コーディネータ

片山千栄（農研機構農村工学研究所農村基盤研究領域）





神戸市の障がい者就労支援について

北区保健福祉部長 横田 治郎

1. 一般就労の取り組み

(1) 現 状

法定雇用率 民間企業：1.8%

実雇用率 兵庫県下：1.79%（全国：1.69%）（平成24年6月1日現在）

(2) 課 題

①中小企業での障害者雇用が進んでいない。

②法定雇用率が、平成25年4月より0.2%アップ（民間企業：2.0%）

(3) 神戸市の取り組み

目 標・・・「神戸市障がい者保健福祉計画2015」

神戸市就労推進センターからの障害者就労を平成27年度150名とする。

現 状・・・平成15年度：15名⇒平成22年度：96名⇒平成23年度：140名

①各種セミナーの実施（対象：当事者・保護者・支援者・雇用企業）

3回実施予定（9月・11月・3月）

②特別支援学校等向企業見学会

平成24年8月～平成25年3月 7回実施予定

③企業向け就労訓練施設見学会

2回実施

④市役所内での訓練

平成24年度：トライアル実習2週間 9名

訓練雇用半年 1名

⑤多数障害者雇用企業等認定制度創設（平成24年1月～）

雇用率10%以上かつ雇用数5名以上の市内事業者を認定し、

神戸市の清掃業務を随意契約する制度（全国初）

2. 福祉的就労の取り組み

(1) 現 状

①平成23年度神戸市内事業所平均工賃：16,267円/月（利用者：2,605名/月）

②就労系福祉サービス事業所数（平成24年12月現在）

就労継続A型：15か所、B型：125か所、就労移行支援（一般）：26か所

計166か所 延定員数：2,908名

(2) 課 題

- ① 更なる工賃アップの取り組みが必要
- ② 障害者優先調達推進法(平成 25 年 4 月施行)への周知等

(3) 神戸市の取り組み

目 標・・・「神戸市障がい者保健福祉計画 2015」

平成 27 年度の月額平均工賃：21,000 円/月

- ① 神戸ふれあい工房での展示・販売
- ② 移動販売車(ふわぼん号)による PR と販売
- ③ 企業内授産事業の補助
- ④ 授産商品開発プロジェクト
- ⑤ 市役所・各区における授産商品展示販売

ふわぼん号



農業分野に対する取り組み

- ・ 福祉サービス事業所アンケート（平成 23 年 8 月）
163 か所を対象に 137 事業所回答（回収率 84%）
農業に取り組んでいる事業所 25%
関心がある事業所 33%
- ・ セミナーの実施（平成 24 年 3 月）
- ・ 産業振興局農政部計画課との連携
遊休地情報や関心のある事業者情報の提供

3. しごとと開拓員

全国初の取り組みとして、一般就労と福祉的就労を一体的に支援する「しごと開拓員」を西部地域就労推進センターに配置（平成 24 年 7 月～ 1 名）。

福祉サービス事業所や企業との連携を行っている。

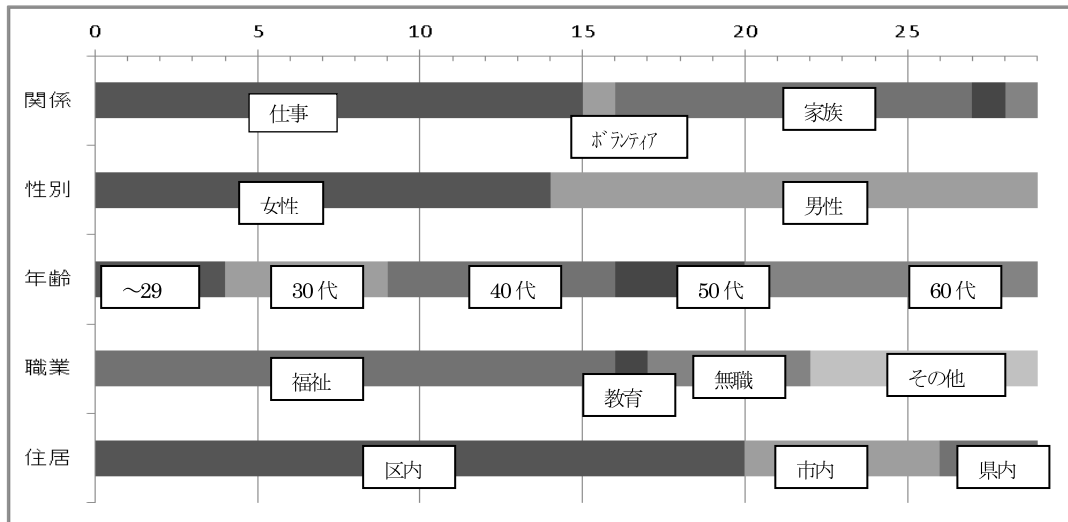


アンケート集計報告

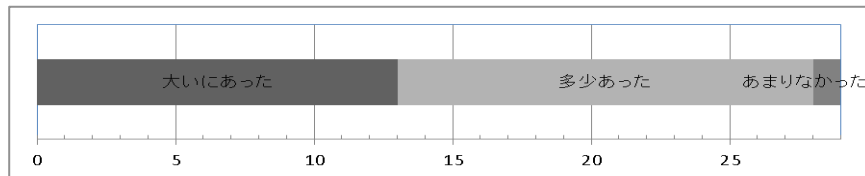
日時：平成25年2月16日（土）13:30～16:00 会場：神戸市立北神区民センター・ありまホール

参加者数：93名 回答数：29（回答率 31.2%）

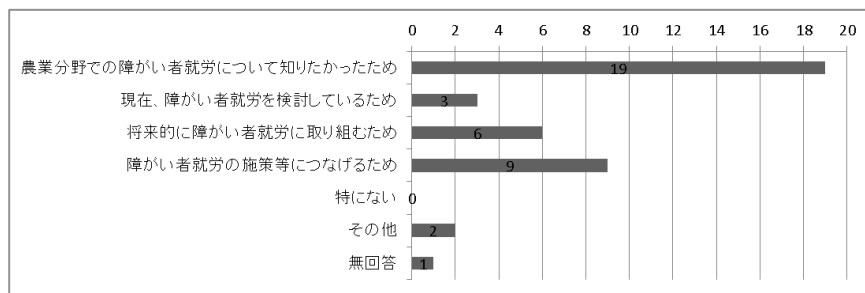
◆基本情報



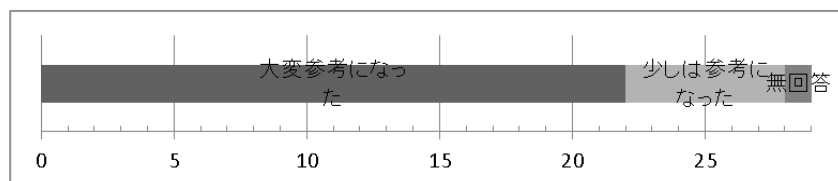
問1 これまで、農業分野での障がい者就労について、関心をお持ちでしたか？



問2 この研修会に参加された主な理由を教えてください。（複数回答）



問3 各事業所の事例発表はいかがでしたか？

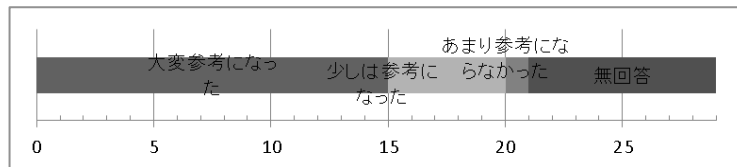


（感想）

- ・加工について、もっと深く聞いてみたい。
- ・端的でまとめられ、利用者の方の声での活動報告が良かった。
- ・各事業所の取り組みを知ることができて良かったです。当事業所の今後の活動に活かせたらと思います。
- ・各事業所がどういった取り組みをしているのか、個々の情報を細かく知れて大変ためになりました。

- ・各事業所の事は聞く機会がないので情報が得られた。
- ・当事業所と同じ問題を持たれていると感じました。これからも研修会を通して勉強させて下さい。
- ・それぞれできる事をしっかりと取り組み“これで良し”ではなく、チャレンジしていこう!!という点は素晴らしいと思った。
- ・いろいろな取り組みをしていられ、少しびっくりしました。私自身の勉強不足を知らされました。
- ・通所施設にお世話になっている子どもの親です。いろんな分野でそれぞれの施設がお仕事されている様子がわかり、親達も少しでも何か協力できればと思いますながら聞かせて頂きました。
- ・北区で野菜づくりをして東灘でレストランをオープンする予定だそうで楽しみです。オープンすれば食事に行きたいです。
- ・いろいろな取り組みをしているのを知ることができた。
- ・事業ごとの実績など成果や行動が知れて良かった。
- ・色々な作業所が農業に参加しておられる事を知り、又、息子の行っている事業所も関連がある事がわかり良かったと思います。
- ・しいたけ、ヨモギ等着眼点が大変すばらしいと思いました
- ・思ったより色んなことに取り組み努力されていることを認識させられた
- ・各事業所が懸命に取り組んでいられることにうれしく思いました

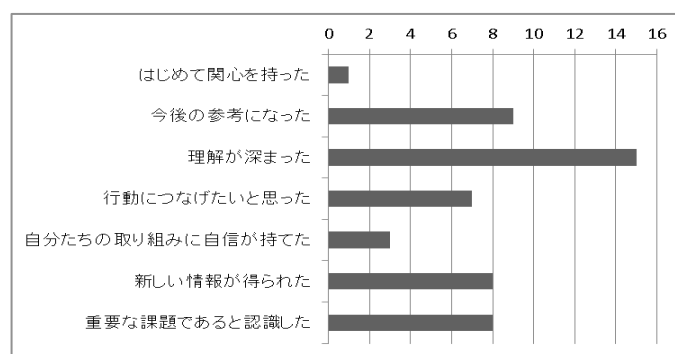
問4 パネルディスカッションはいかがでしたか？



(感想)

- ・農園クラブの藤田さんのおっしゃった“セーフティネット”はまさにその通りだと思いました。また“楽しむこと”を学ぶ、体験する現場としての“農”への期待が高まった。
- ・自分たちのやっていくべきこと、進むべき道をしっかりと定められるきっかけになった。
- ・今後、食糧難になるのは想像できますし、安心な物を適切な価格で供給されることは大きな意味があると思います。そこに障がい者が関われることに喜びも得られる。
- ・非常に参考になりましたし、又自分の考えに自信ができました。
- ・もう少し積極的な意見を交わし合えたら良いと思った。藤田さんの話がとても情熱的で良かった。
- ・実際に従事してらっしゃる方達の生の思いが伝わってきて、大変参考になった。
- ・事業所の報告でも思ったことと同じ考えを藤田様よりお話があり、親達のあり方を考えさせられました。
- ・大まかな部分がつかめたかなあ～
- ・賃金上がる事を願っています
- ・多品種少量、実践していきます

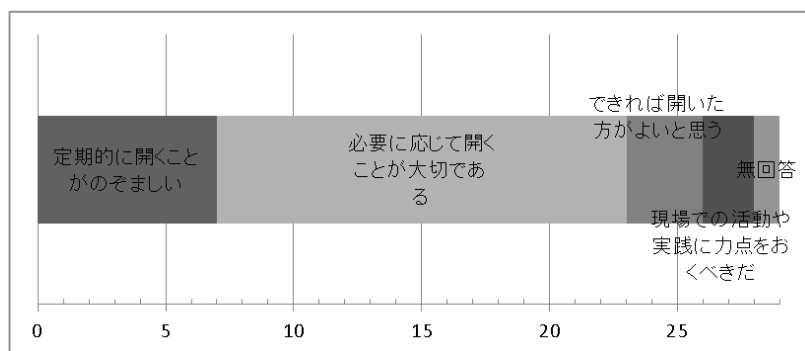
問5 この研修会に参加いただいて、農業分野で障がい者が働くことについてどのようにお感じになりましたか？（複数回答）



具体的にどのようなことを行いたいとお考えですか？

- ・自分の携わっている仕事で障がい者の方の参画可能な事を見つける
- ・何かお手伝いしたいと思いますが、自分に何が出来るのか？が今一つ見えません。考えていきたいと思います。
- ・将来的に就労につながる可能性を考えて、支援学校・機関・福祉のネットワークを通じて「体験」させてやりたい。
- ・施設のまわりの田畑の持ち主が高齢者の方、80歳以上の方が多く、農業を手伝ってほしいとの要請あり。
- ・親戚にも協力できることはがんばっていききたいと思いました。
- ・乾燥野菜の共同事業など。しいたけ販売
- ・力になれる様な事があれば手伝っていききたい。
- ・とりあえず仲間を探したい
- ・自分が所属している事業所で特化して出来ることを考えたい
- ・区分等に関わらず分業などの工夫で皆さんの参加が可能になるとよく分かった
- ・現在農業の仕事を取り入れ、老化退行の人の就労に向け土地（農地）を探しているところです。今後ともよろしくご指導ください

問6 この研修会の様な情報や意見交換の場について、どのように考えていますか？



問8 農業分野における障がい者就労に関することで、今後の研修会のテーマ、その他詳しく知りたいことがございましたらご記入ください。その他、ご感想、ご意見、お気づきの点などについてもご自由にご記入ください。

- ・農業分野に進出する為の注意点等
- ・きたベジねっとを単なるネットワークではなく、物流まで視野に入れた
- ・三田市にて活動しておりますが、借りられる畑は確保出来ませんが元々田である為、土の質を改善するところからはじまり、かなりハードです。ましてや障がい者ですのではなかなか形になりません。今回ネットワーク化されている神戸市の話を聞き大変うらやましく思います。市を超えて交流は出来ないもののでしょうか。
- ・乾燥機、真空パックなどの機械を使った品物の上手な使い道、調整の仕方、子ども達は使いこなせるのか？どんな風に出来上がっているのか？本職として工賃がとれるのか
- ・就労時間、日数、勤務状況。雨天時における作業
- ・私の作業所では農業には取り組んでいません。でもグループ作業所内では農業をして新鮮な野菜を店頭で販売しています。苦労もあると思います。また、それに取り組んでおられるスタッフの方に、いろいろ聞いてみようと思ってます。
- ・耕作面積をかなり広く持たないと運営出来ないと感じました。自施設だけでは店舗に置く野菜が少なく問題です。北区の皆様は簡易ハウスの無い施設はどうされていますか？
- ・障がい者が実際に農業に関わる上での技術的な問題、あるいは具体的支援の在り方について、より詳しい事例を聞かせていただきたい。
- ・（少人数で）交流の時間があれば、もっと情報交換ができたのではないかと思います。

議事録

平成 24 年度 第 1 回 議事録

日時：平成 24 年 4 月 6 日（金）10:00～12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：横田部長、山本課長、（区社協）今枝部長、相生（上野丘）井上（かがやき）八幡、
（清心ホーム）山根、小藪（ヨゼフ）岩田（野いちご）樋口（フレンド）大久保（フレニード）加辺

運営組織について

①役員

- ・部会長 井上勝彦氏を推薦、承認。
- ・事務局 フレンドが引き続き引き受ける。

②会費について

次回、会則とともに検討する。

活動計画について

①部会の開催

しばらくは毎月 1 回開催する。原則、第 3 金曜 10:00～12:00

②商品開発

きたベジねっとの加工特産品を検討する。

③施設間連携

生産・加工・販売の連携を推進していく。規格外品を加工で有効利用する。

農林水産省の助成金について

農村工学研究所と障害者就農について共同研究を行う。金額等は未定。

具体的な調整事項について

① 配送について

次回、引き続き検討する。「いかり」については関係施設で調整し、実施する。

次回会議の日程について

24 年度 第 2 回 日時：5 月 18 日（金）10:00～12:00

会場：きた地域生活支援センター

平成 24 年度 第 2 回 議事録

日時：平成 24 年 5 月 18 日（金）10:00～12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：横田部長、山本課長、（区社協）今枝部長、相生、（上野丘）井上、
（かがやき）八幡、（清心ホーム）山根、（野いちご）樋口、（フレニード）大久保、加辺

部会規程について

部会規約案を検討、修正し、別紙のとおり決定し、施行する。

副部会長に、かがやき神戸の八幡氏、監事に、区社協の今枝部長が推薦され、承認した。

作付け状況について

フレニードと上野丘更生寮から夏野菜の作付け状況を説明した。

上野丘更生寮は、スイカを 4 反、トマトを 2000 本栽培。

加工について

加工品の研究を推進していく。

- ・漬物研究会 清心ホームを中心に進める。
- ・他に餅研究会も検討する。

配送について

いかり共同作業所への配送について

- ・いかりのボランティアの久保田さんが実施。
- ・自動車は久保田さんの車を使用。
- ・いかりが経費（1 キロ 30 円）を支払う。

議事録

- ・実施は第2・第4金曜、フレニード、上野丘、すずらんの里を經由。

※7月以降は未定のため、検討していく。

直売所への出荷について

現在、直売に取り組んでいる施設は、かがやき神戸、清心ホーム、いかりの3施設。

「いかり」と「かがやき神戸」は注文購入のため、各生産施設が注文書を事前に送り、注文を取る。

清心ホームは、委託販売で、各生産施設が値段を付けて好きな量を出荷する。

農林水産省の助成金について

- ・248万円の助成が内定。決定通知は6月頃の予定。
- ・決定通知が届いてから、農村工学研究所と打合せをする。

椎茸園について

- ・フレニードが作業を実施する。
 - ・会員施設から作業を希望する利用者を施設外支援で受け入れる。
- 希望される方は、事前研修を行った上でご検討ください。
(椎茸園までの送迎は利用者の施設でお願いします。)

次回会議の日程について

24年度 第3回 6月21日(木) 10:00 ~ 12:00

会場：きた障害者地域生活支援センター

平成24年度 第3回 議事録

日時：平成24年6月21日(金) 10:00~12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：横田部長、山本課長、(区社協)今枝部長、相生、(上野丘)井上、(かがやき)八幡、(清心ホーム)山根、高野、(野いちご)樋口、(はっち)榎原、(フレニード)大久保、加辺

会費の請求について

- 請求書案で各事業所に事務局より請求する。
- 途中参加の事業所は月割りで支払うことも可。
- 会費を支払えない事業所の位置づけを検討する。

農林水産省補助金について

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所へ研究委託する。

今年度の事業計画について

- 具体的な課題に絞り、ワーキンググループで目標達成に取り組んでいく。
- 漬物ワーキンググループと生産ワーキンググループを開催する。
- 他に餅研究会も検討する。
- 7月に事業所を対象に農業体験(スイカの収穫)を実施する。

ホームページの開設について

- 農林水産省の補助金30万円を使用する。
- 制作は「アート・ウィル」に発注する。
- 契約は会計処理のため、2月末までとする。
- いかりが経費(1キロ30円)を支払う

次回会議の日程について

24年度 第4回 7月20日(金) 10:00 ~ 12:00

会場：きた障害者地域生活支援センター

平成24年度 第4回 議事録

日時：平成24年7月20日(金) 10:00~12:00 会場：きた地域生活支援センター

議事録

出席：横田部長、(区社協) 今枝部長、相生、(清心ホーム) 山根、高野、(はっち) 檜原、
(いずみ) 高田、(ひふみ園) 勝浦、(フレニード) 大久保、加辺 計10名

漬物ワーキンググループについて

第1回会議：7月12日(木) 17:30~19:30 (清心ホーム) 参加者8名

- ・高野さんより報告。
- ・次回は、9月13日(木) 17:30~

スイカの収穫体験について

- ・参加費用について
事業所単位で3000円。少人数の場合は2000円。
上野丘更生寮へ支払。残金は次回へプールしていく。
- ・第2弾は秋のバスツアーを企画する。
畑をまわり、椎茸や野菜を収穫し、青少年公園でバーベキュー。

ホームページについて

- ・レンタルサーバーは「さくらインターネット」
- ・ドメイン名は「kobe-kita-vege.net」
- ・コンテンツを検討した。

2月の事業報告会(研修会)の会場について

日時：25年2月23日(土)

会場：北神区民センター・大ホール

※7月20日に予約済み。農村工学研究所も連絡済み。

次回会議の日程について

24年度 第5回 日時：8月17日(金) 10:00~12:00

会場：きた地域生活支援センター

その他

(区社協より)「Voセンターだより」で市民サポーターを募集。応募があり、
いかりへの9月からの配達を担当していただく予定。

平成24年度 第5回 議事録

日時：平成24年8月17日(金) 10:00~12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：横田部長、山本課長、(区社協) 今枝部長、相生、(上野丘) 井上、(清心ホーム) 山根、
(いずみ) 高田、(みのたに園) 広瀬、(フレニード) 大久保、加辺

オブザーバー：(農村工学研究所) 石田、片山 計12名

前回議事録案について

事務局より、前回の議事録案を説明した。

スイカの収穫体験について

- ・7事業所が参加した。
- ・別紙のアンケートで感想を参加事業から聞く。
- ・(感想) 大変貴重な経験ができ、参加者は楽しんでいた。
- ・(課題) 暑くてすぐこぼれた。次回は朝の涼しいうちにできないか。
- ・スイカ代、@3000×6を上野丘更生寮からご寄附いただきました。
- ・今後の農業体験企画について
フレニードが、「椎茸狩り」を計画する。
バーベキューのモデルコースを計画する。
来年度に「米づくり体験」を計画する。

ホームページについて

議事録

- ・「アート・ウィル」と契約を結ぶ。
- ・ホームページに掲載する写真や文章の作成を始める。

配送ボランティアについて

- ・いかりの配送ボランティア2名が決まった。
- ・いかりは、月2回なので、月に1回だけの活動。
- ・他の事業所への配送も実施してもらえるように相談する。

農村工学研究所との連携について

- ・実施要領の通り、実施する。
- ・8月17日の午後に上野丘更生寮の実施状況を視察する。

次回会議の日程について

24年度 第6回 日時：9月21日（金）10:00～12:00

会場：きた地域生活支援センター

平成24年度 第6回 議事録

日時：平成24年9月21日（金）10:00～12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：横田部長、（区社協）相生、（上野丘）井上、（かがやき神戸）八幡、（清心ホーム）高野、
（はっち）樫原、（フレニード）大久保、加辺、（白百合学園）小笠原、湯澤、橋本
（神戸市産業振興局農政部計画課地域整備係長）盛田 計12名

前回議事録案について

事務局より、前回の議事録案を説明した。

漬物ワーキンググループの活動について

- ・9月13日（木）に第2回の会合を清心ホームで行った。
- ・会議録に沿って報告した。
- ・漬物等に張る「きたベジねっと」のシール制作の要望があった。
⇒ 区社協の予算で制作するよう進める。

ホームページについて

- ・「アート・ウィル」と契約を結び、9月末までに10万円、3月末までに20万円支払う。
- ・掲載する写真や文章を10月15日を締切に集める。

「しらゆりフレンドリークラブひがしなだ」について

- ・白百合学園の小笠原施設長より、事業の報告を行った。
- ・「きたベジねっと」の野菜を出荷し、販売や料理に使用する。
- ・山田町の農地で、野菜の生産にも取り組む予定。
- ・次回、品目や配送方法について相談する。

営農支援等について

- ・神戸市産業振興局農政部計画課 盛田係長と意見交換。
- ・農業員会を通した農地の利用設定を申請し、正式に農業に取り組むのが望ましい。
- ・営農指導は、県農業改良普及所の指導員から受けることができる。
- ・農地の世話をできる人が減ってきている。障害者就労事業所も取り組んでいく。

次回会議の日程について

24年度 第7回 日時：10月19日（金）10:00～12:00

会場：きた地域生活支援センター

その他

○事業報告会（研修会）の日程変更

区の行事が入ったために、日程を変更した。

25年2月16日（土）午後

議事録

- ・「ソーシャルファーム講演会」の案内

平成 24 年度 第 7 回 議事録

日時：平成 24 年 10 月 19 日（金）10:00～12:00 会場：きた地域生活支援センター

出席：（区役所）横田部長、（市農政部）盛田係長、（区社協）今枝部長、相生（上野丘）井上

（白百合学園）橋本、（清心ホーム）山根、（ひふみ園）勝浦、（はっち）梶原、

（農工研）片山、（フレニード）大久保、加辺

計 12 名

前回議事録案について

- ・事務局から報告し、特に異議なし。

「ホームページ」について

①進捗状況

- ・ドメイン「kobe-kita-vege.net」の登録が完了。
- ・ブログの登録が完了。アメーバブログ「きたベジねっとのブログ」
- ・ツイッターの登録が完了。

②参加事業所のキャラクターについて

- ・ロゴマークの野菜たちを各事業所のキャラクターにして活用しようとの案があり、各施設の野菜の案を決定。
- ・各事業所で、キャラクターの名前やプロフィールを考え活用していく。

●各事業所の野菜キャラクター

しいたけ＝フレニード きゅうり＝清心ホーム 大根＝上野丘更生寮 ナス＝ひふみ園

ピーマン＝はっち ニンジン＝しらゆりフレンドリークラブひがしなだ

未定＝みのたに園 未定＝作業所北すず 未定＝すずらの里

農林水産省の助成金について

- ・農業資材購入費（28 万円）の使用希望を次回会議までに事務局に連絡し、11 月の会議で決定する。
- ・スタッフ旅費（48 万円）で先進事例の視察を行う。視察先候補を事務局まで連絡し、1 月の会議で決定する。

「しらゆりフレンドリークラブひがしなだ」について

- ・地元野菜を使ったイタリア料理を提供。11 月末オープン予定。
- ・各事業所から注文書を送付し、「はっち」を出荷場所にする。

農地管理受託、農作業請負等について

- ・市内に 1300 筆ほど手入れが必要な農地がある。
- ・北区の放棄田の状況について、情報収集を行う。
- ・農地の管理や、畔草刈り等の請負作業を担っていく。

2 月の研修会について

- ・当事業の活動報告を中心に実施する。特に以下の 2 点を強調していく。
- ・当事業は、農村の活性化のために、担い手不在の農地における管理作業を積極的に取り組むことを農家の方々にアピールする。
- ・消費者に対して、地元での野菜の生産・加工、そして販売に取り組んでいることをアピールする。
- ・講師については、次回に候補者案を募り、検討する。

次回会議の日程について

24 年度 第 8 回 日時：11 月 15 日（木）10:00～12:00

会場：きた地域生活支援センター・会議室

その他

- ・区社協より「事業に関する収支状況調査」の依頼。

議事録

平成24年度 第8回 議事録

日時：平成24年11月15日（木）10:00～12:00 会場：きた障害者地域生活支援センター 会議室

出席：（区役所）横田部長、（市農政部）盛田係長、（区社協）今枝、相生、

（上野丘）井上、（白百合）橋本、（清心）小藪、（フレンド）大久保、加辺、 計9名

活動報告について

- ・区社協より、事業に関する収支状況について報告を行った。
- ・「地域ふれあいまつり」11月10日、広陵小学校
4事業所で農産物の販売を実施。売上が99,700円あった。
- ・「収穫感謝祭」11月10日、清心ホーム
農産物販売額、99,480円。

ホームページについて

- ・ラフデザインが完成。残りのページの作成を進める。
- ・ブログの更新を開始する。

「しらゆりフレンドリークラブひがしなだ」について

- ・岡場の「はっち」を出荷場所にする。
- ・開所が12月末か年明けになる予定。

助成金について

- ・農業資材の購入（単価3万円以下）
 - ①草刈り作業受託のための測量機（オートレベル）を購入する。
 - ②育苗ハウスの整備を検討する。
 - ③通い箱（コンテナ）の整備を検討する。
- ・視察について
 - ①12月10日の鳥取で行われる研修会に日帰りで参加する。
上野丘の車両を使用。参加希望者を募る。
 - ②1月に先進事例の視察を行う。

研修会について

- ・当事業の報告を主に実施する。
- ・100名規模で椅子はフロアのみ使用予定。

農地管理の請負について

- ・できれば法的に正式な農業生産者となるよう手続きを進める。
- ・1月、2月の農閑期に草刈り作業の請負を進める。
- ・上野丘を中心に、はっち、フレニードと協力して実施する。

次回会議の日程について

24年度 第9回 12月21日（金）10:00～12:00

会場：きた障害者地域生活支援センター・会議室

その他

- ・上野丘「収穫祭」 11月18日（日）11:00～
- ・部会忘年会 12月4日（火）18:30～ 椎茸の食べ比べを実施
- ・市社協の片岡課長より、夏の野菜セットの販売について問い合わせがあり、今後、相談を行う。

平成24年度 第9回 議事録

日時：平成24年12月21日（金）10:00～12:00 会場：きた障害者地域生活支援センター 会議室

出席：（区役所）横田部長、（市農政部）盛田係長、（区社協）今枝、相生、

（上野丘）井上、（白百合）橋本、（かがやき）八幡、（はっち）梶原、

議事録

(フレンド) 大久保、加刃、(大沢農業塾卒業生) 石古、 計11名

活動報告について

- ・はっち、おうご農園クラブ「岡場直売所」で利用者2名が働いている。

鳥取研修会について

- ・4事業所から7名が参加。報告書に沿って報告をし、意見交換を行った。

ホームページについて

- ・12月より、公開を開始。訂正、ページの作成を進める。
- ・ブログの更新を開始する。

先進事例視察について

- ・視察先について 複数の候補から、山口市の「るりがくえん」に決定。
- ・日程について 第一候補：2月5-6日。第二候補：2月12-13日。

研修会について

- ・タイトル「都市近郊農業における障がい者就労の可能性」
- ・後援は、北区役所、北区社会福祉協議会
- ・時間が短いので、ステージの転換などは、なるべく行わない。
- ・先着100名に大根をプレゼントする。(引換券で帰りに配布)
- ・チラシに一般の方も参加できることをわかりやすく表示する。

農作業の受委託について

- ・フレニード 12月18日より前中悠農園で委託作業を実施。
夏野菜の片づけ、イチゴの苗ポットの片づけ
- ・農作業委託相談を広報していく。

次回会議の日程について

24年度 第10回 1月11日(金) 10:00~12:00

会場：きた障害者地域生活支援センター・会議室

24年度 第11回 1月31日(木) 10:00~12:00

会場：きた障害者地域生活支援センター・会議室

先進事例視察研修 2月5日(火)~6日(水) 社会福祉法人るりがくえん

神戸障がい者就労研修会 2月16日(土) 13:30~16:00 ありまホール

平成24年度 第10回 議事録

日時：平成25年1月11日(金) 10:00~12:00 会場：きた障害者地域生活支援センター 会議室

出席：(区社協) 今枝、相生、(上野丘) 井上、(白百合) 橋本、(かがやき) 八幡、

(清心ホーム) 山根、(はっち) 檜原、(フレンド) 大久保、加刃、 計9名

前回議事録について

- ・事務局より報告。異議なし。

農作業受託について

- ・フレニード、2軒の農家と作業受託を行っている。
- ・はっち、神田周辺で今後作業受託の予定。
- ・実績を積み上げながら、適正価格を探っていく。
- ・耕作放棄田の生産委託も検討していく。(地主の負担が少ない)

ホームページについて

- ・修正、新規ページ作成を進める。
- ・ブログのネタを募集し、更新していく。

研修会について

- ・スケジュール

議事録

13:30 開会あいさつ
13:35 事業報告（各事業所から）
14:25 休憩
14:35 パネルディスカッション
15:55 閉会あいさつ

- ・パネルディスカッション出演者
コーディネーター 片山千栄（農村工学研究所）
パネラー 藤田寛文（おうご農園クラブ会長、岡場直売所）
石田憲治（農村工学研究所）
神戸市農政部計画課
神戸市福祉部
井上勝彦（部会長、社会福祉法人上野丘さつき会）
- ・以上で依頼する。

視察研修会について

- ・新神戸駅着を17時前に変更する。
- ・参加予定者（区・社協）3名、（上野丘）3名、（フレンド）2名
（清心ホーム）1名、（かがやき）1名、（はっち）1名 現在 11名
- ・食費は自己（各事業所）負担。旅費、宿泊費は補助。

次回会議の日程について

24年度 第11回 1月31日（木）10:00～12:00
会場：きた障害者地域生活支援センター・会議室
先進事例視察研修 2月5日（火）～6日（水）社会福祉法人りがくえん
神戸障がい者就労研修会 2月16日（土）13:30～16:00 ありまホール

平成24年度 第11回 議事録

日時：平成25年1月31日（木）10:00～12:00 会場：きた障害者地域生活支援センター 会議室
出席：（区役所）横田部長、（農政部）盛田、（区社協）今枝、相生、（上野丘）井上、
（白百合）橋本、（かがやき）八幡、（清心ホーム）山根、小簀、（はっち）檜原、
（農工研）片山、（フレンド）大久保、加辺、（ふれあい工房）片山、浜口、計15名

前回議事録について

- ・事務局より報告。異議なし。

農作業受託について

- ・盛田係長より、JAとのお話の報告があった。
集落営農を推進しているところで、現段階での協力は難しい。
- ・当事業所も利用権設定を推進し、実績を重ねていく。
- ・農閑期に委託作業があるのは助かる。
- ・耕作放棄田の生産委託も検討していく。（地主の負担が少ない）

ホームページについて

- ・制作会社との契約が2月末で終わります。新規ページ作成の希望があれば、
早急にテキストや写真を提出する。
- ・ブログのネタを募集し、更新していく。

消耗品の購入について

- ・委託作業受託見積り用にオートレベルと標尺を購入した。
- ・漬物WGより、きたベジねっとのシールを作成する。
- ・生産WGより、土壌検査用機器を購入する。

議事録

視察研修会について

- ・新神戸駅着を17時前に変更した。16:46 着のぞみ40号。
- ・参加予定者 (区・社協) 3名、(上野丘) 3名、(フレンド) 2名
(清心ホーム) 1名、(かがやき) 2名、(はっち) 1名 現在 12名
- ・食費は自己(各事業所)負担。旅費、宿泊費は補助。
- ・るりがくえんが送迎車を出してくれることになった。
- ・講師謝礼5万円を支払う。

研修会について

- ・スケジュール
13:30 開会あいさつ(女性・高齢者活動支援室長 荻野氏)
13:35 事業報告(各事業所から)
14:25 休憩
14:35 パネルディスカッション
15:55 閉会あいさつ
- ・パネルディスカッション出演者
コーディネーター 片山千栄(農村工学研究所)
パネラー 藤田寛文(おうご農園クラブ会長、岡場直売所)
石田憲治(農村工学研究所)
盛田周吾(神戸市農政部計画課地域整備係長)
横田治郎(神戸市北区役所保健福祉部長)
井上勝彦(部会長、社会福祉法人上野丘さつき会)
- ・当日は12時集合。会場設営。
- ・役割分担
閉会挨拶: 岩田さん 司会: 今枝さん 受付: はっち

次回会議の日程について

- 24年度 第12回 3月15日(金) 10:00~12:00
会場: きた障害者地域生活支援センター・会議室
- ・今後の予定
先進事例視察研修 2月5日(火)~6日(水) 社会福祉法人るりがくえん
神戸障がい者就労研修会 2月16日(土) 13:30~16:00 ありまホール

その他

- ・ふれあい工房より、野菜販売の協力依頼。
旬の野菜セット、店舗販売。これから相談、検討していく。

平成24年度 第12回 議事録

日時: 平成25年3月15日(金) 10:00~12:00 会場: きた障害者地域生活支援センター 会議室
出席: (区役所) 横田部長、(農政部) 盛田、(区社協) 今枝、(上野丘) 井上、
(白百合) 橋本、(清心ホーム) 山根、中條(はっち) 榎原、(フレンド) 大久保、加辺、計10名
前回議事録について

- ・事務局より報告。異議なし。

ロゴマークシールの制作について

区社協からの助成金(10万円)をいただき、ラベルシール1万枚、ステッカー500枚制作しました。
生産施設に配布し活用する。

視察研修会について

- ・視察研修先: 社会福祉法人るりがくえん(山口県山口市)

議事録

- ・開催月日：2月5日（火）～6日（水）
 - ・参加者：12名（7団体）
- 事務局から報告の後、参加者から感想を述べ、意見交換を行った。

研修会について

- ・日時：2月16日（土）13:30～16:00
 - ・会場：神戸市立北神区民センター・ありまホール
 - ・参加人数：93名
- 事務局よりアンケート結果を報告した。
今後も広く周知を行う機会を設ける。
区外から参加された事業所もあり、今後、ネットワークの拡大を検討していく。

農地管理の請負について

- ・利用権の設定を上野丘とはっちが申請を準備している。
- ・農地法に基づいた取り組みを展開していくように努める。

農林水産省補助金について

- ・24年度について
生産消耗品の購入と報告書を作成し、助成金の請求手続きを行う。
- ・25年度について
来年度も補助金の申請を行う。

来年度の計画について

- ①組織について
来年度も現状のまま、自立支援協議会の部会とする。
- ②会費について
区外や事業に直接関わっていない事業所に対する
会費を軽減した制度を検討する。

「きたきたまつり」出店について

- 区社協のブースにおいて、きたベジねっとの商品を販売する。
- ・日時：5月18日（土）12時～18時
 - ・場所：フルーツ・フラワーパーク
 - ・販売希望の施設は事務局へ連絡する。

次回会議の日程について

- 25年度 第1回 平成25年4月19日（金）10:00～12:00
会場：きた障害者地域生活支援センター・会議室

その他

- 「福祉事業所のためのものづくり講座」の案内

活動の記録

■活動の記録

平成 20 年度	
8 月	施設長有志による会議「農による就労支援の可能性について」
9 月	施設長有志による会議「各施設の取り組み状況と問題点について」
1 月	関係施設長会議「農による障害者就労支援の具体化について」
2 月	関係施設長会議「農と障害者等就労支援プロジェクトについて」
平成 21 年度	
4 月 1 日	北区役所が社会福祉法人フレンドに業務委託
5 月 1 日	コーディネーター2 名を雇用
1 日	-15 日 コーディネーター 施設実習
5 月 12 日	第 1 回施設長会議
6 月 1 日	第 2 回施設長会議
6 月 1 日	しあわせの村シルバーカレッジへ事業説明
6 月 15 日	第 3 回施設長会議
7 月 7 日	はっち 大池に「ピヨピヨ」直売所を開店
7 月 11 日	「キックオフシンポジウム」を開催
7 月 22 日	「北区のまちづくりを考えるシンポジウム」パネラー参加
8 月 3 日	第 1 回プロジェクト会議
8 月 6 日	淡河モデル農園の整備開始
8 月 6 日	はっち 淡河モデル農園で農作業を開始
8 月 11 日	第 4 回施設長会議
8 月 21 日	各施設で野菜の苗づくりを実施
9 月 9 日	にじのかげ橋 農園視察
9 月 15 日	淡河モデル農園 仮設トイレ整備
10 月 5 日	みのたに園 淡河モデル農園で農作業を開始
10 月 7 日	第 2 回プロジェクト会議
10 月 19 日	にじのかげ橋 東灘に直売所を開店
11 月 10 日	第 5 回施設長会議
11 月 24 日	サポーター説明会を開催
11 月 28 日	にじのかげ橋 収穫体験と畑の見学会
11 月 30 日	しいたけ栽培視察「玉津むつみの家」
12 月 7 日	かがやき神戸 ジャスコで野菜販売
12 月 14 日	みのたに園 ふれあい喫茶で野菜販売開始
12 月 16 日	第 6 回施設長会議
12 月 23 日	年末チャリティバザーで野菜販売
1 月 16 日	フルーツ・フラワーパークで野菜販売を開始
1 月 27 日	鈴蘭台中央民児協研修会で事業報告
2 月 20 日	キムチ教室を開催
2 月 24 日	第 7 回施設長会議
3 月 4 日	「北区ふれあい喫茶交流会」で野菜の出張販売を宣伝
3 月 10 日	施設見学会「津山みのり学園」
平成 22 年度	
4 月 13 日	モデル農園にパイプ倉庫を設置
4 月 15 日	フレニード FFP 農園の整備を開始

活動の記録

4月	18日	大沢農業塾を受講
4月	21日	イベントブルゾンを25着制作
5月	13日	宗像市議会社会常任委員会視察
5月	17日	FFP農園 倉庫と仮設トイレを整備
5月	28日	第1回施設長会議
6月	22日	ジャガイモとタマネギの斡旋販売を開始
6月	28日	親和大学実習生受け入れ
7月	9日	「ふれあい給食交流会」で事業説明
7月	20日	清心ホーム 北鈴蘭台で野菜販売を開始
7月	21日	フレニード めぐみの郷への出荷を開始
7月	26日	第2回施設長会議
7月	26日	はっち 漬物の試作を開始
8月	3日	しいたけ栽培視察「あけぼの学園るりけい寮」
8月	4日	フレニード FFP 花売店で野菜販売を開始
8月	9日	「新商品開発プロジェクト」二次選考会でプレゼンテーション
9月	2日	3日、授産商品開発プロジェクトの支援者が事業を視察
9月	24日	授産商品開発プロジェクトの支援者によるワークショップを開催
9月	29日	第3回施設長会議
10月	8日	農村工学研究所による事業のヒアリング
10月	23日	24日、Fの会「収穫祭」で各事業所が野菜販売
10月	26日	かがやき神戸 奈良県の東吉野村にヨモギ栽培を視察
10月	27日	かがやき神戸 淡河農園でヨモギ栽培を開始
10月	28日	第1回加工部会
10月	29日	関西学院大学人間福祉学部で学生ボランティアツアーの説明
11月	13日	授産商品開発プロジェクト「インクルーシブデザインワークショップ」参加
11月	26日	かがやき神戸 広陵町で野菜の試験販売「かがやき市」を実施
11月	29日	第4回施設長会議
11月	29日	-12月15日 ロゴマーク原画コンテスト 作品募集
12月	3日	障害者週間啓発記事に掲載
12月	3日	4日、「農&福祉学生ボランティア体験ツアー」開催
12月	4日	「北区ふれあい講演会」で事業説明と農産物の販売
12月	8日	第2回加工部会
12月	11日	上野丘更生寮 二郎苑へ給食用野菜販売を開始
12月	17日	ロゴマーク原画コンテスト 一次審査
12月	23日	年末チャリティバザーで野菜販売
1月	24日	第5回施設長会議
1月	29日	椎茸園 パイプハウス完成
2月	2日	椎茸園 ホダ木2000本導入
2月	3日	第3回加工部会
2月	6日	「授産振興シンポジウム」にパネラー参加 ロゴマーク原画コンテスト二次審査 参加者による投票
2月	7日	椎茸園 六甲山牧場よりホダ木200本購入
2月	7日	椎茸園 「原木栽培講習会」
2月	7日	-9日 椎茸園 植菌作業

活動の記録

2月	10日	第1回直売所部会
2月	21日	第6回施設長会議
2月	24日	第4回加工部会、おうご農園クラブ六甲直売所視察
3月	1日	作業所すず 加工品販売を開始
3月	7日	椎茸園 開園式
3月	10日	「障がい者就労研修会 in つくば」で発表
3月	15日	椎茸園 運搬車導入
3月	23日	第2回直売所部会
3月	24日	第7回施設長会議
平成 23 年度		
4月	7日	第1回加工部会
4月	20日	第1回直売所部会
5月	16日	第1回施設長会議
5月	19日	椎茸園 上野丘更生寮よりホダ木 200 本購入
5月	26日	第2回直売所部会
5月	30日	第1回生産部会
6月	3日	第2回加工部会
6月	8日	はっち 淡河町の生産者が出荷用コンテナ 20 個寄贈
6月	14日	親和大学実習生受け入れ
6月	20日	第3回直売所部会
7月	1日	みのたに園 「ファクトリーたけふ」を開店
7月	4日	いかり共同作業所 野菜販売を開始
7月	6日	第4回直売所部会
7月	8日	第2回生産部会
7月	15日	フレニード ありの児童館で出張販売
7月	16日	フレニード 南五葉児童館で出張販売
7月	16日	はっち 大池夏まつりで野菜販売
7月	19日	第2回施設長会議
7月	26日	生産部会 収穫カゴ、コンテナを 56 個整備
8月	4日	第3回加工部会
8月	6日	上野丘更生寮 すずらんの里とミョウガの収穫作業
8月	10日	第5回直売所部会
8月	11日	生産部会 収穫ハサミを 23 個整備
8月	19日	第3回生産部会
8月	19日	親和大学研修生にレクチャー
8月	25日	足立区役所から視察
9月	9日	パンフレット A4・4 ページ、2000 部作成
9月	19日	第3回施設長会議
10月	6日	第4回加工部会
10月	7日	第4回生産部会
10月	19日	椎茸園 発生ハウスにバラス敷き工事
10月	22日	清心ホーム「収穫感謝祭」
10月	24日	加工部会 漬物加工場見学会
10月	26日	育成会北支部親の会 大沢農園でいも掘りと黒枝豆の収穫

活動の記録

10月	27日	第6回直売所部会
10月	29日	-30日 Fの会「収穫祭」で各事業所が野菜販売
11月	1日	兵庫県楽農生活センター楽農学校アグリビジネスコースに5名受講
11月	5日	ゆうわ福祉会「バザー」に野菜・加工品を出荷
11月	9日	第4回施設長会議
11月	9日	ロゴマーク4種類が完成
11月	11日	第5回生産部会
11月	19日	のぼり30本制作
11月	21日	第3回プロジェクト会議、ロゴマーク原画コンテスト表彰式
11月	26日	生産部会 かがやき神戸「地域ふれあいまつり」で野菜販売
11月	29日	フレニード ありの児童館で野菜販売
12月	1日	配送スタッフを雇用
12月	2日	配送支援を開始
12月	2日	椎茸園 発生ハウスにミスト散水設備設置
12月	8日	第5回加工部会
12月	23日	生産部会 年末チャリティバザーで野菜販売
1月	18日	第5回施設長会議
1月	27日	椎茸園 ホダ場ハウスにミスト散水設備設置
1月	31日	すずらんの里 品質表示用ラベルプリンターを試験導入
2月	9日	第6回加工部会
3月	7日	講演会「農に取り組む障がい者施設への応援メッセージ」
3月	7日	第6回施設長会議（全体会議）
3月	17日	かがやき神戸 サテライトショップ プレオープン
平成24年度		
4月	1日	北区地域自立支援協議会の特別部会として事業を継続
4月	6日	第1回部会
5月	18日	第2回部会
6月	21日	第3回部会
7月	12日	第1回漬物ワーキンググループ会合
7月	20日	第4回部会
8月	2日	「スイカの収穫体験」開催
8月	17日	第5回部会
8月	17日	農村工学研究所が上野丘更生寮で活動ヒヤリング
9月	13日	第2回漬物ワーキンググループ会合
9月	21日	第6回部会
10月	19日	第7回部会
10月	20日	ゆうわ福祉会バザーに農産物、加工品を出荷
11月		きたベジねっとホームページ運営開始

活動の記録

11 月	10 日	「地域ふれあいまつり」に出店
11 月	10 日	清心ホームが「収穫感謝祭」を開催
11 月	18 日	上野丘さつき会が「収穫祭」を開催
12 月	4 日	忘年会を開催
12 月	11 日	鳥取障がい者就労研修会に参加
12 月	21 日	第9回部会
1 月	11 日	第10回部会
1 月	31 日	第11回部会
2 月	5 日	～6 日 先進事例視察研修会を開催
2 月	16 日	神戸障がい者就労研修会を開催
3 月	15 日	第12回部会
3 月	21 日	漬物ワーキンググループ会合

規約

農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会規約

(目的)

第1条 本部会は、北区地域自立支援協議会の特別プロジェクト部会として、障害者が農作業等を通じて、就労を促進し、障害者の福祉の向上を図ることを目的とする。

(活動内容)

第2条 本部会の活動は、次の活動の協議、取りまとめ及び支援とする。

- (1) 農作物生産とその加工
- (2) 椎茸栽培
- (3) 農作物の販売及び配送
- (4) その他第1条の目的を達成する活動

(部会員)

第3条 本部会の部会員は、北区地域自立支援協議会の会員で、第1条の目的に賛同して、本部会に参加する施設及び機関とする。なお、北区地域自立支援協議会の会員外の施設で、第1条の目的に賛同する場合は、部会員にすることができる。

(役員)

第4条 本部会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 1名

2 役員は、部会員の互選により選出する。

3 役員の任期は、2年とし、再選を妨げない。ただし、補欠により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員の職務)

第5条 会長は、本部会を代表し、その部会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けた時は、その職務を代行する。

(活動経費)

第6条 本部会の活動経費は、会費、助成金、寄付金等をもってあてる。

(会費)

第7条 部会員は、活動を支えるため、次の会費を納めるものとする。

会費 年額24,000円(月額2,000円)

(事務局)

第8条 本部会の事務局は、ワークステーションフレニードに置く。

2 会計は、事務局が所掌する。

(規約改正)

第9条 本規約は、部会員の過半数の賛同により改正することができる。

附 則

この規約は、平成24年5月18日より施行する。

参加事業所一覧

北区地域自立支援協議会
農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会

会員一覧 (平成 25 年 3 月現在)

正会員 (事業所単位) 9 事業所

	法人名	事業所名
1	上野丘さつき会	上野丘更生寮
2	かがやき神戸	だんだん
3	くすのき会	ひふみ園
4	恵泉寮	清心ホーム
5	コミュニティライフサポートいずみ	作業所北すず
6	白百合学園	アリス・エリザベスホーム (しらゆりフレンドリークラブひがしなだ)
7	はっち	ホームはっち
8	フレンド	フレニード
9	陽気会	みのたに園

協力事業所 (5 法人、7 事業所)

	法人名	事業所名
1	いかり	いかり共同作業所
2	コミュニティライフサポートのぞみ	作業所すず
3		作業所のぞみ
4	ゆうわ福祉会	きたむつみ会 すずらの里
5		野いちごの会
6	陽気会	陽気寮
7	ヨハネ会	ヨゼフ寮

計 12 法人、16 事業所

神戸市北区
農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク
報告書

発行：北区地域自立支援協議会
農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク部会
事務局：社会福祉法人 フレンド
〒651-1313 神戸市北区有野中町1丁目3-8
平成25年3月発行

